

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-027

PDCA	事務事業名	部課等名	市民経済部 経済課 商工担当	担当 内線等	竹内 322			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 4. 商工業・サービス業 単位施策： (2) 接続可能な商業の振興 個別施策： ①魅力ある個店づくり						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	はんだふれあい産業まつりを開催することで、地元農業、工業、商業者の活動をPRし、産業振興に寄与する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・はんだふれあい産業まつり実行委員会への補助 ・実行委員会と協働で、市内事業者を中心に来店者を募集 ・産業まつりの開催PRのためのポスター、チラシを作成 						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位		
		①PRチラシ印刷数	42,100	—	42,100	枚		
		②PRポスター印刷数	400	—	400	枚		
		③						
		事業費	5,000	1,000	5,000	千円		
		人件費	2,541	317	2,498	千円		
		総事業費	7,541	1,317	7,498	千円		
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位			
	①PRチラシ印刷コスト	169,141	—	170,960	円			
	②PRポスター印刷コスト	73,500	—	69,120	円			
	③							
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位		
		①はんだふれあい産業まつり来場者数	実績値	42,000	21,000	43,000	人	
目標値			41,000	21,000	41,000			
②		実績値						
		目標値						
③		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性	④上位施策への貢献	⑦コスト削減余地				
		②市民ニーズ	⑤成果向上の余地	※対象・手段の変更				
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	⑥類似事業の有無	⑧受益者負担適正化余地				
		B						
		地域とのふれあい、地域消費の促進と健全な産業育成を推進するため、「ふれあい産業まつり」を開催した。両日とも天候に恵まれ、盛大に開催することができ、多くの来場者に半田市の産業を紹介することができた。また、地元商業、工業、農業者の積極的な活動がメディア等でも取り上げられ広くPRできた。						
		改善推進						
		今後の事業の方向性	半田商工会議所青年部、あいち知多農業協同組合、JFEスチールなどで構成される実行委員会において画期的な企画を積極的に取り入れてもらい、今まで以上に地産地消の促進や産業振興を支援したい。また、地元商業、工業、農業の団体へさらなる参加を呼びかけ、地元の産業活動を重点的にPRしたい。					
		令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位
			①はんだふれあい産業まつり来場者数				43,000	人
A 課題解決のための目標								